



事故原因の解明無しに飛行して良いのか？

昨年四月、宮古島近くで陸自のヘリコプターが墜落。搭乗者全員が死亡。陸自はエンジンの出力が徐々に低下する「ロールバック」が起きたと報告。

これは「自動車でも、エンジンが徐々に遅くなって車が止まった」と云うだけ。エンジンの出力低下の理由の説明になっていない。

どうして全員が・・・

飛行機なら、エンジンが飛行中に止まっても、グライダーのように滑空し、海面に着水できるので全員死亡にはならないだろう。ヘリコプターは動力で頭上の大きなローターを回して浮いているので、エンジンが止まるとすぐ落ちる。その対策としてエンジンの軸が止まった時、ローターが自由に回るオートローター

ション機能がある。これによりエンジンが止まってもゆっくり降下できる。着水し乗員は脱出できた筈。

都会の上空を飛ぶ沢山のヘリ。オートローターション機能が働かなければ、ストーンと落ちて、乗員にも下界の住民にも悲劇がおきる。

なぜエンジンの出力が落ちたのか、オートローターション機能が何故働かなかったのか、解明し対策を採らなければ市街地を飛ぶことは許されない。

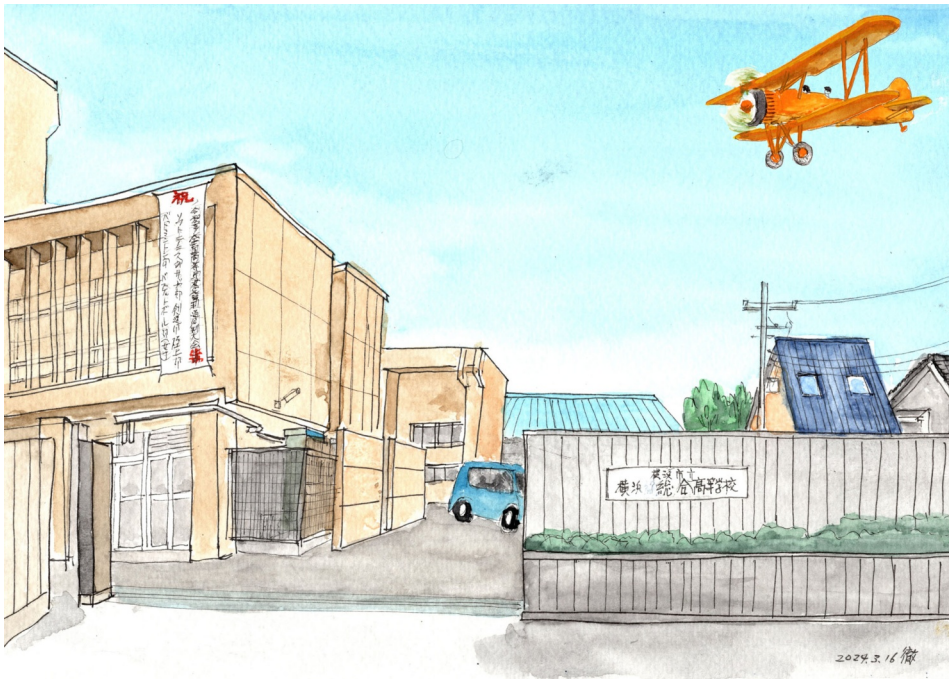
一方、屋久島沖に墜落したオスプレイはローター径が小さいのでオートローターションは出ない。エンジンが止まったら即墜落。水平飛行中では翼が短いのでグライダーとして滑空できない。即落ちる。危ない！危ない！あなたはどう思われますか？

ここは飛行場だった

横浜市南区大岡

横浜市立横浜総合高校

二〇二四年三月



市営地下鉄弘明寺駅の近くに横浜市立横浜総合高校がある。定時制の横浜市立港高校、市立横浜商業高校の定時制、市立横浜工業高校を統合、再編して二〇〇二年に開校された。

この付近には戦前、横浜高等工業学校があった。軍の要請か、飛行機に関する学科があった。この高校の辺りは滑走路。絵にある赤とんぼと云う複葉の練習機は僅か三百mの滑走で離陸。周りは田畑。悠々と飛んでいたらしい。かつて操縦した人によると赤とんぼは安定した飛行機。操縦中、どうしていいか分からなくなったら手を離せば自然に安定した飛行に戻ったそうだ。

その高等工業は横浜国立大学の工学部になったが、当時の飛行機の格納庫が体育館になっていた。

来週は休刊するかも知れません

